

〔曲名〕 田植唄

〔曲種〕

〔作曲者〕 橋本国彦

〔編曲〕 Jiro Nakano

中野二郎

この楽譜は昭和5年に共益商社(現・日本楽器)で出版。

作者はこれを田園的民謡と云い、次のようにはしがきしている。

“・・・自分は幼い時、田舎に住んでいたから、その経験が田植唄の作曲に大いに役立った。

この曲は単に歌うばかりでなく、祭りの時やその他の賑やかな催しに、踊りと一緒に演奏して貰えば嬉しい・・・

ところが、その後10年経った昭和15年に再販した時、大幅に大改作したのを比べて見て、私は愕くと共に、そこに作者の面目と飽くなき欲求に脱帽した。

具体的に書けば、メロディを八分音符の並列を〔3連(4分+8分)〕に置き換え、

しかも〔付点8分+16分〕でなく、〔8分+8分〕と〔3連(4分+8分)〕との中間にしたいと希望している。

在来の音頭調のリズムに近い運びになるが、マンドリン曲にはない形なので、試してみて頂きたい。

原曲は林 柳波の詞に附曲したものであるが、田舎風に陽気にはずんで、と書き添えてある。

1993年 3月 発行

マンドリン合奏曲集4集 (JMU版 パート譜付) より